

第 33 回近畿高等学校ヨット選手権大会
兼 令和 4 年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技予選会

帆走指示書

1 規則

- 1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』（以下、規則と略す）に定義された規則を適用する。
- 1.2 (公財)全国高等学校体育連盟「競技者及び指導者規則規定」がすべてに優先する。
- 1.3 [DP]は、プロテスト委員会の裁量によりペナルティーを失格より軽減することができることを意味する。
- [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインを通告する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これはRRS63.1および付則A5を変更している。
- [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。

2 競技者への通告

公式掲示板は LINE オープンチャットを用いる。右の QR コードをスキャンすることで招待が受けられる。



https://line.me/ti/g2/lFirqdDsUtW9T92-yGs8HeK4Pu1bKQxzwnXweA?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

3 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 9:00 までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 18:00 までに通告する。

4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、クラブハウス北側 2 階テラスに設置された信号柱に掲揚する。
- 4.2 [DP][NP]音響信号と共に掲揚される D 旗は、「予告信号は、D 旗の掲揚後 30 分以降に発する。艇は、この信号を発せられるまで、指定されたバースから離れてはならない。」ことを意味する。
- 4.3 指示 5.1 及び 5.6 に示した個別のレースに対して A P 旗を掲揚しない。予告信号予定時刻の 30 分前までに D 旗を掲揚しない場合、そのレースのスタートは、時間に定めなく延期されている。

5 レース日程

5.1 レース日程

日程	時刻	
6 月 10 日(金)	10:55	女子 420 級 第 1 レースの予告信号
	11:02	女子レーザーラジアル級 第 1 レースの予告信号

	13:30	男子 420 級	第 1 レースの予告信号
	13:37	男子レーザーラジアル級	第 1 レースの予告信号
6 月 11 日(土)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号	
6 月 12 日(日)	9:55	その日の最初のクラスの予告信号	

- 5.2 レース数は、各クラス 5 レースとする。
- 5.3 1 日に 2 レースを予定しているが、1 日最大 3 レースまで実施できる。
- 5.4 6 月 11 日及び 12 日の毎朝 8 : 45 から、クラブハウス前にて、レース委員会・テクニカル委員会・プロテスト委員会・監督・主将によるブリーフィングを行う。
- 5.5 1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。
- 5.6 各クラスのレース終了後、その日の次のレースのスタート予告信号予定時刻を掲示する。
- 5.7 6 月 12 日(日)は、13:00 より後に予告信号を発しない。但し、13:00 以前に予告信号が発せられたレースが、1 回またはそれ以上ゼネラル・リコールまたは延期となった場合、そのレースの予告信号は 13:30 以降であっても発せられることがある。

6 クラス旗

クラス旗は次の通りとする。

クラス	旗の色と形象
男子 420 級	白地に青の 420 形象
女子 420 級	青地に白の 420 形象
男子レーザーラジアル級	黄緑地に赤のレーザー形象
女子レーザーラジアル級	赤地に黄のレーザー形象

7 レース・エリア

「添付図 1」 にレース・エリアの位置を示す。

8 コース

- 8.1 「添付図 2」の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号船に、帆走すべきコース及び最初のレグのおおよそのコンパス方位を示す掲示板を掲示する。

9 マーク

- 9.1 マーク 1、2 は黄緑色の円錐形、3、4 は黄色の円錐形ブイとする。
- 9.2 指示 11 に規定する新しいマークはピンク色の円錐形ブイとする。
- 9.3 スタート・マークはスターボードの端にあるレース委員会船とポートの端にあるオレンジ色の円柱形ブイとする。
- 9.4 フィニッシュ・マークはスターボードの端にあるレース委員会船とポートの端にあるオレンジ色の三角錐形ブイとする。

10 スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、スタート・マークのコース側との間とする。
- 10.2 [DP] [NP] 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。
- 10.3 スタート信号後 4 分より後にスタートした艇は、審問なしに『スタートしなかった』(DNS)と記録される。これは規則 A4 を変更している。

11 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できればすぐに元のマークを除去する。

12 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にブルー色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

13 ペナルティー方式

- 13.1 付則 P が適用される。

14 タイムリミットとターゲットタイム

- 14.1 各クラスのコースとそれぞれのターゲットタイムは、次の通りとする。

クラス	ターゲットタイム
男女 420 級	45 分
男女レーザーラジアル級	45 分

- 14.2 規則 29.1、30.1、30.3、30.4 に違反しないでスタートした先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった』(DNF)と記録される。この項は、規則 35、A4、A5 を変更している。

15 抗議と救済要求

- 15.1 抗議書は、クラブハウス 2 階にあるレース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出しなければならない。
- 15.2 抗議締切時刻はその日の最後のクラスの最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。
- 15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告を掲示する。審問はプロテスト審問室にて掲示した時刻に始められる。
- 15.4 指示 13 に基づき規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。
- 15.5 審問再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 00 分までの間に限り求めることができる。ただし、6 月 12 日（日）に判決を通告された場合には、判決を通告されてから 15 分以内とする。これは、規則 66 を変更している。

- 15.6 6月12日(日)では、プロテスト委員会の判決に対する救済要求は判決の掲示から15分以内でなければならない。これは規則62.2を変更している。
- 1.6 得点
- 16.1 シリーズが成立するためには、1レースを完了することを必要とする。
- 16.2 3レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 16.3 参加艇数とは、本大会に参加が認められた艇の数とする。
- 16.4 指示1.3により標準ペナルティーを課された艇の得点記録の略語は「STP」である。
- 1.7 申告
- 17.1 [NP][SP]出艇しようとする競技者は、「レース申告受付所」で出艇申告として「航跡記録装置」を、その日の最初のレースのD旗掲揚10分後までに受け取らなければならない。出艇申告および帰着申告は「航跡記録装置」により自動的に行う。なお、「航跡記録装置」は、その日のレース終了後60分後までに返却しなければならない。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 17.2 リタイアしようとする艇および引き続き行われるレースに出走しない艇は、リタイアの意思を近くのレース委員会艇に伝え、速やかにレース海面を離れなければならない。
- 1.8 [NP]安全規定
- 18.1 [DP]競技者は衣類または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、水上にいる間は個人用浮揚用具(ライフ・ジャケット)を着用しなければならない。ウェット・スーツとドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。個人用浮揚用具は、ISO12402-5、レベル50または同等以上の浮力を要しなければならない。これは規則40を変更している。
- 18.2 艇が救助を要請する場合には、救助する船に対して、片手を高く上げて合図を送ることとする。ただし、レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断したレース艇に対して、リタイアを勧告する。また、緊急救助を要すると判断した場合には、競技者の意思に拘わらず強制的に救助を行うことができる。この場合、艇からの救済要求は認めない。これは規則62.1(a)を変更している。
- 18.3 [SP]艇は自らの安全のためにマストトップに浮力体として黒色球体形象物(黒球)を取り付けなければならない。
420級については、規則87および420クラス規則A.8.2に基づき、420クラス規則のC.5.1aに以下の文を追加する。「自らの安全のために、マストトップに揚力を起こさない形状の浮力体の取付を認める。」ただし、そのことにより半沈時に漂流速度が増すことなどのリスクについて十分に留意する事。
- 18.4 曳航ロープについて
- (a)420級については、420クラス規則のとおりとする。
- (b)レーザーラジアル級については、直径6mm以上、長さ5m以上の曳航ロープをバウアイにつけておかななければならない。

1 9 [NP]乗員の交代

- 19.1 [SP]乗員届は、次のとおり出艇・帰着申告所においてレース委員会に提出しなければならない。
6月10日（最初のレースの日）の8時15分～8時45分
ただし、その後乗員の変更を行う場合には、その都度新たな乗員届を出艇申告時に申告所に提出しなければならない。

2 0 [DP]計測のチェックと装備の交換

- 20.1 艇又は装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。
- 20.2 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、書面によりテクニカル委員会に行わなければならない。

2 1 運営船

運営船の標識は、次のとおりとする。

運営船	識別旗
競技委員会船	白地に赤字「VIP」
レース委員会船	白地に赤字「RC」
プロテスト委員会船	赤地に白字「PROTEST」
救助船	緑地に白字「RESCUE」
報道船	白地に緑文字「MEDIA」

2 2 [DP][NP]支援艇

- 22.1 支援艇が出艇する際は、出艇・帰着申告所で出艇申告と帰着申告を行わなければならない。指示4に規定する「D旗」が掲揚されていない場合、支援艇もこれに従うものとする。
- 22.2 支援艇は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発した後2分まで、艇がレースをしているエリアから100m以上外側にいなければならない。
- 22.3 支援艇は、出艇から帰着するまでの間、レース委員会が準備するピンク色旗を明確に掲揚しなければならない。
- 22.4 レース委員会は荒天等の理由により、支援艇に対し救助の要請を行う場合がある。それぞれのレース委員会船にピンク旗が掲揚された場合、支援艇はレース委員会船の指示に従わなければならない。
- 22.5 支援艇に乗艇する全ての要員は、競技艇の帆走に影響する行動をとってはならない。これは支援艇による引き波にも適用される。

2 3 ごみの処分

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

2.4 [DP][NP]無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。但し、指示 17 の機器は含まない。

2.5 賞

賞は実施要項の通りとする。

2.6 責任の否認

競技者は、完全に自己の責任でレガッタに参加する。規則 4 [レースすることの決定] 参照。主催団体及びこれにかかわるすべての団体・役員、その他のすべての関係者は、競技者がレガッタの前、レガッタ中及びレガッタ後に受けた物的損傷または個人の負傷、身体障害もしくは死亡に対して責任を否認する。

2.7 規則違反によって生じた損害の補償

主催団体は、規則等に違反した艇の選手に対して、その規則違反によって生じたすべての損害の補償を命じることができる。その損害の補償に関しては、主催団体の裁定に従うものとする。

2.8 その他

参加者は艇及び自身の映像や名称が放送、出版、広告媒体、その他に露出されることについて同意したものとする。またこれに対する対価を求めることはできない。

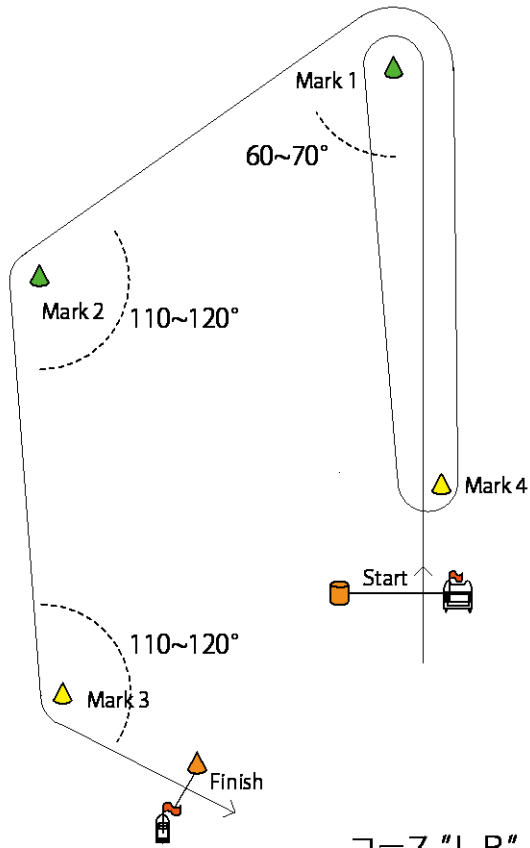
添付図 1 ハーバー及びレース・エリア



添付図 2 レース・コース

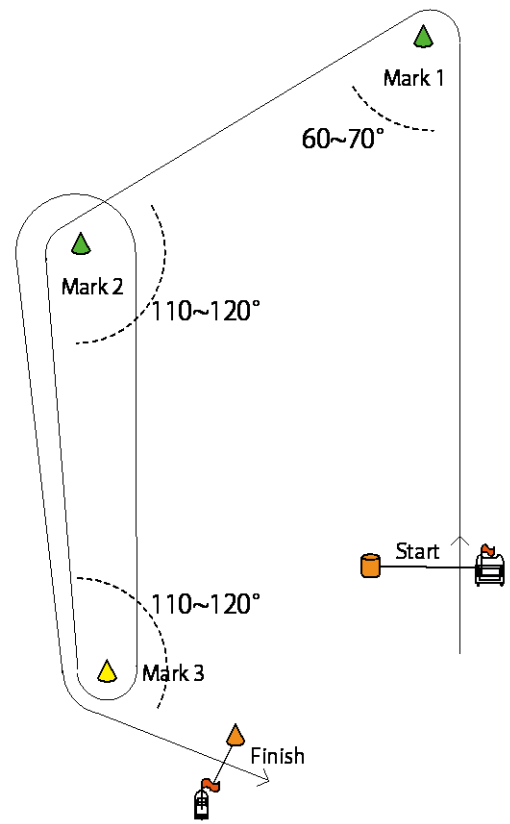
コース "I" トラペゾイド インナーループ

I 2: Start-1-4-1-2-3-Finish



コース "O" トラペゾイド アウターループ

O 2: Start-1-2-3-2-3-Finish



コース "LR"

上下・ポート・フィニッシュ

LR 2: Start-1-4s-1-4-Finish

